

音更町健康増進計画推進委員会結果（要旨）

会議名	令和5年度第2回音更町健康増進計画推進委員会	
開催日時	令和5年11月7日（火） 午後6時30分から午後7時30分まで	
開催場所	音更町保健センター 検診室	
委員出席者	阿部委員長 栗原副委員長 木村委員 向平委員 高田委員 富田委員 石王委員 山崎委員 増田委員 安達委員 田中委員 西村委員	
町出席者	堀田保健福祉部長 藤原健康推進課長 佐藤保健担当課長 三橋課長補佐 田副総務係長 大野おやこ保健係長 野中健康推進担当主査 小瀬健康推進係主任管理栄養士 品田健康推進係主任保健師	
議題内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議件 議案第1号 第3期音更町健康増進計画（健康おとふけ21）素案について 4 その他	
会議資料	令和5年度第2回音更町健康増進計画推進委員会議案 資料1 健康おとふけ21 令和6(2024)年度～令和17(2035)年度 素案 資料2 第3期音更町健康増進計画（健康おとふけ21）素案の概要 資料3 健康おとふけ21（第3期音更町健康増進計画・音更町自殺対策行動計画）素案概要版	
会議結果	議案第1号 素案の内容で承認	
出された主な 質問・意見等	【第3章について】	
	委員：	主要死因のなかで全国平均を100としたときの標準化死亡比が脳血管疾患65.7と心疾患88.2であり音更町が低い理由は何が考えられるのか。とても冬が寒い十勝において、全国よりも低くなるのが腑に落ちないところがある。
	事務局：	他の計画による分析結果では、両疾患による医療費は上位に位置していることから、病気を発症はしているが死亡までは至っていないということが予測できる。これは、十勝には大きな医療機関が多数あることによって、早期に受診が可能で救命がなされていると考えられる。
	【第4章について】	
	委員：	音更町は肥満率が全国を上回っているがどんな理由が考えられるのか。
	事務局：	特定健診の質問票の結果で飲酒や朝食を食べない町民が多いことが判明した。このことから食習慣の偏りが原因のひとつと考えられる。
	委員：	令和2年度以降に透析患者が増えた要因はどのようなものがあるのか。
	事務局：	音更町としての傾向について詳細は把握していないが、全国的な傾向としては、高齢化が原因といわれている。年を重ねることによって高血圧症や糖尿病になりそこから慢性腎不全につながっていると言われている。
	委員：	透析対策として、医療機関と連携とあるが具体的な内容は。
	事務局：	対象となる町民が健診結果で判明した場合、医療機関からの指示書に基づき町で対象者に栄養指導を実施している。その結果を医療機関にフィードバックして情報共有をしている。
	委員：	高齢者BMI対策はどんなものがあるのか。肥満者への対策はたくさんあるが、痩せている高齢者への指導はイメージができない。
	事務局：	痩せていく主な原因は、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態といわれるフレイルにあると考えている。そのため、フレイル予防として「運動」・「栄養」・「社会参加」がとても重要であり、生活機能全般を上げていくことが対策であると考えている。
	委員長：	男性が単身生活になると食生活が退行していき、フレイルになることがある。地域やコミュニティでそういう人のサポートをすることも必要であると思う。
	【第5章について】	
	委員：	ゲートキーパー研修はどのくらい開催しているのか。私も以前に研修を受けたが、その後、ゲートキーパーとしての活動の場がなく、また更に勉強したいと思ってもそういった機会がないと感じている。
	事務局：	令和4年度は2回の研修を実施した。対象者は、こども食堂の関係者や町職員などとし、ゲートキーパーを多くの人に知ってもらうことを目的に活動をしているが、研修参加後のさらなる勉強の機会の提供やゲートキーパーとしての活動の場の創出についても今後検討していく。
	委員長：	自殺対策として精神保健医療福祉サービスの充実がとても大切であると感じている。十勝の精神科医も減少しており、医療にかかりたくても予約が何か月も先しかとれない状況も耳にする。自殺を考えてしまう状況の人が、その時に医療サービスが受けられるようにすることも対策のひとつになる。精神科医だけでなく臨床心理士を増やすことも重要である。